



がん放射線療法看護認定看護師

まつしょう みきこ

松莊 美樹子 (放射線治療室)

今年度は「高齢者とがん治療」をテーマに、がん分野の専門・認定看護師がトピックスをお届けしています。5月号は、がん放射線療法看護分野が担当します。

放射線治療は身体への負担が少ないという特徴があり、ご高齢の方、他にご病気をお持ちで手術や抗がん剤の適応とならない患者さんに対して、行うことのできる治療です。

今回は、手術と同等の局所効果が得られる、早期非小細胞肺癌に対する「**定位放射線治療**」についてご紹介します。



定位放射線治療

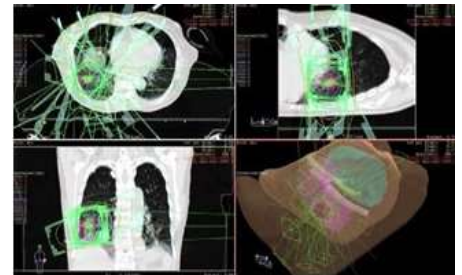
早期非小細胞肺癌に対する標準治療は手術ですが、さまざまな理由で手術が難しい患者さんに対して、定位放射線治療は良好な治療成績を収めています。

複数の方向から、標的のがんだけに集中的に放射線をあてるため、**ピンポイント照射**とも呼ばれています。

治療期間は数日間、1回の治療は1時間程度です。

厳密な位置合わせが必要なため、患者さんごとに体に合った固定具を作成します。

副作用には**肺炎・皮膚炎・肋骨骨折**などがありますが、多くは軽度にとどまります。



この治療を受けた患者さんの声

持病があって手術ができないと言われた。
手術以外にも治療法があって良かった。



1回の治療時間は長いけれど
痛くもなんともないから頑張れた。

体力的に心配でしたが数日で
済んだから無理なく通えました。



放射線治療医が適応を判断し、治療内容や副作用について、ご理解・ご納得いただいたうえで治療を進めていきます。

外来通院も可能な場合が多く、高齢者の方に特有な入院による認知症の悪化や、身体機能の低下を起さず、無理なく受けられる治療とも言えます。

不安や疑問等は治療スタッフへ
ご遠慮なくお伝え下さい。

